

## 1年からの総復習を本気で継続してやろう！

第2回実力テストが終わりました。結果はどうだったでしょうか？普段の定期テストのような得点はなかなか取れないという人も多いのではないのでしょうか？

第1回の実力テストより良い点数が取れた人の中には「1年生からの総復習の問題集をしっかりとやった」という人もいました。今からでも遅くありません。総復習の勉強をすぐにでも始めましょう。

「一生懸命勉強をしているのになかなか点数が上がらない」という人もいます。この場合、どれくらいの期間頑張りましたか？これまで以上に「一生懸命」勉強を始めて、目に見えて成績が上がるのには3か月くらいかかるといわれています。

3年生に入って4月から一生懸命勉強を頑張った人で、6月の実力テストの結果は良くなかったけれども、9月の第2回実力テストでは成果が出たということはよくあります。2学期の最初から頑張りはじめた人も、10、11月の実力テストや定期テストで成果を出すことは可能だと思います。継続して学習に取り組みましょう。

## 受験には自分の目標を持つ、受験とは団体競技

夏休みに、ある高校の先生からその高校に通う本校の卒業生の話を聞きました。

ある生徒は、入試の時にぎりぎりの成績で合格しましたが、2年生の現在では学年全体の真ん中くらいの成績になっていました。高校の先生も「これは立派だ」とほめておられました。入学した時は、同級生、同学年のほとんどが自分より成績が上の人ばかりだったはずで、そこから、努力して成績をこれだけ上げてきたのです。

もう一人の人も、成績がかなり良いそうで、「クラスの勉強の先頭にたっている」ということでした。

この人たちは、どちらも、「将来こんな職業に就きたい。そのためにはこの学校（大学）に進学する必要がある、目標の学校に入学できるだけの成績を取れるようにしなければならない」ということがはっきりしているのだそうです。

もう一つ、この先生は「受験は団体競技です」と言っておられました。この場合の「団体競技」は進路獲得に向けて、勉強をしっかりとしていくという雰囲気をもみんなで作っていくことであったり、ある科目のわかりにくい個所を得意な人が教えたり教えられたり、という「チームワーク」が結局みんなの勉強の力を向上させていく、ということであるようです。これは高校進学に向けても同じことではないでしょうか。

## 本校卒業生の激励の言葉

本校の卒業生から「中学校の後輩たちへ」という手紙が送られてきました。その一部を紹介します。

### Aさん

今は、勉強で忙しい時期ですががんばってください。

何かの目標を持って頑張ることは、いいことと今なら、わかります。

何かをするに対して、目標を持つことがまず大切です。

勉強はめんどくさいかもしれませんが、今がんばって楽しい思いをしましょう。

自分は勉強ができないと決めつけないようにがんばりきってから、自分を評価しよう。自分の努力にも失礼です。天才とは、努力する凡人のことである。だからみなさんも天才になってください。自分の可能性を信じて、明日にきらめけ！

### Bさん

とにかく、皆さんには、将来でやりたいことを見つけて欲しいのです。部活と勉強の両立は大変だと思いますが、小さなことでもやりたい事がみつければ、先に進む事ができると、僕は思っています。みなさん、頑張ってください。

## 生活態度も重要 ～推薦入学～

学力やスポーツ等の技能に優れた力がある生徒には、中学校の校長先生の推薦を受けて優遇されて入学できる「推薦入学」を実施している私立高校等があります。ところが過去には、非常に優れた技能を持っているのに、日常の学習態度や生活態度により、推薦を受けられない生徒がいましたので注意してください。

なお、本校の推薦基準は次の通りとなっています。

### ※ 推薦基準

#### (1) 学力、技能について

高校等より示される基準を満たしていること

#### (2) 生活態度について

- ① 3年当初より、飲酒、喫煙、単車等の無資格運転等の違法行為がないこと
  - ② 3年当初より、服装等の校則違反がないこと
  - ③ 3年当初より、欠席、遅刻、早退、欠課(授業離脱、授業遅刻等)がないこと
- ただし、病気、体調不良等のやむをえない事情がある場合を除く

※なお、スポーツ等の技能による推薦(本校部活動又は外部のクラブチーム等)の場合は、本人、保護者と校長先生による面接の上決定します。